

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成 29 年度第 7 回 岩舟地域会議
開催日時	平成 29 年 10 月 25 日 19 時 00 分 開会 20 時 17 分 閉会
開催場所	岩舟総合支所 会議室棟 第 1 会議室
出席者氏名	浅野勝、海老沼圭子、斉藤栄吉、櫻井ナミ子、佐山耕基、寺内正市、中田身和、真瀬孝、安藤芳雄、海老沼一利、高久厚子、田中正太郎、五十畑賀章、相良香津子、瀬下敏明 以上 15 名
欠席者氏名	小倉久緒
事務局職員職氏名	岩舟地域づくり推進課長 岩崎充、係長 小松原雅人、主査 中田与志人 以上 3 名
その他出席者等	
会議事項	(1) 栃木市消防庁舎整備基本構想（素案）について（意見聴取） (2) 平成 31 年度実施分地域予算提案事業について (3) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0 名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◆事務局	1. 開 会 2. あいさつ 安藤会長よるあいさつ 3. 議 事 (1) 栃木市消防庁舎整備基本構想（素案）について（意見聴取）
●委員	岩舟分署については、現状のままなので、都賀・西方地域の方が納得できる庁舎建設になればいい。
●会長	都賀・西方の地域会議の意見聴取は行ったのか。
◆事務局	都賀・西方の地域会議の意見聴取は行っている。都賀の会議録がHPに掲載されていないので内容については分からないが、西方では意見なしと回答している。この構想は栃木市全域を 5 署所でカバーする考え方である。
●委員	各分署の特徴はあるのか。例えば、藤岡地域には渡良瀬遊水地があるので水難事故もあると思うが、地域に特化した分署整備の構想はないのか。
◆事務局	詳しいことは分からないが、藤岡地域には遊水地があるので救命ボートもある。装備面は各地域で変わると思う。
●委員	今回は、消防庁舎の整備構想である。装備については、整備基本計画で検討していくと思われる。また、栃木市では平成 27 年 9 月関東・東北豪雨で浸水や土砂災害があったので、それなりの装備はあると思う。今回の意見聴取でそこまで踏み込んでいいのか。

●会長	そういう意見があったことは回答した方がいいのでは。
●委員	せつかく庁舎を作るのであれば、どんな中身になるのか知りたい。
◆事務局	推測だが、素案に「栃木市消防庁舎整備基本計画を策定していく」とあり、また、平成 28 年度に藤岡分署では、船が出しやすいうように庁舎の改築を行っているので、その地域に応じた装備等は整備基本計画で検討していくと思われる。
●会長	それでは、浸水や土砂崩れ等の各地域の災害特性に応じた消防庁舎整備がされるよう要望することでもいいか。
●全委員	《了承》
	(2) 平成 31 年度実施分地域予算提案事業について
	《平成 31 年度実施分地域予算提案事業の検討方法について、資料に基づき事務局から説明》
●委員	地域予算枠は、どのように決まっているのか。
◆事務局	栃木市全体で 2400 万円の予算があり、8 地域に均等割と人口割で分けており、今年度岩舟地域は 291 万円だった。
●委員	まちづくり実働組織設立準備会に地域予算の事業案を提出してもらった際、予算限度額をどうするとあるが、多額の費用がかかる事業も出てきてしまうので限度額は設けた方がいい。
◆事務局	岩舟地域の地域予算枠の中で一定の限度額を設け、事業案を提出してもらった選択肢もあるということである。
●委員	まちづくり実働組織設立準備会に事業案の投げかけをすれば、返答はあると思うが、小学校区によって設立に向けた進捗状況が違う。あまり進んでいないところに平成 31 年度実施分の地域予算の話をするのはどうかと思う。
●会長	地域予算の検討方法として、地域会議だけで検討するのか、地域会議以外にも意見を出してもらい検討していくかの 2 択だと思う。まちづくり実働組織設立準備会から意見を出してもらい、それに対して予算を検討するのも地域会議の役割だと思う。
●委員	まちづくり実働組織設立準備会も、設立後の活動に活かせるものが欲しいと思う。
●会長	まちづくり実働組織設立準備会は 4 団体あるので、その中からいろいろな提案があれば、予算の振り分け等について地域会議で相談できる。
●委員	同じような意見があれば、それを一つにまとめて事業化したり、次のアイデアを考えたりできる。また、スケジュールもよく考えた方がいい。
●委員	今のスケジュールだと 8、9 月には取りまとめが必要。多くの人に意見聴取することはいいことだが、ルール作りも必要。
●委員	平成 30 年度実施分についても、まちづくり実働組織設立準備会の方に話を聞いて進めてきているので、同じ方法でいいと思う。
●委員	地域自治交流会で配布された地域予算事業計画書一覧表の大平地域と都賀地域の地域活動支援事業というのがあるが、どういう事業なのか。
◆事務局	大平地域については、軽量化されたワンタッチ式テントを購入し、地域のイベン

<p>●会長</p>	<p>トで使用する。また、災害時において防災テントとして利用する。都賀地域については、机・イスを購入しイベントで使用するというものである。</p> <p>それでは、平成 31 年度実施分地域予算提案事業の検討方法として、まちづくり実働組織設立準備会に事業案を提出してもらい、地域会議で検討していくことでいいか。</p>
<p>●全委員</p>	<p>《了承》</p>
<p>●委員</p>	<p>(3) その他について</p> <p>《平成 29 年度地域予算提案事業「岩舟のふるさとPR事業」について、資料に基づき説明及び素材の動画鑑賞》</p> <p>静和地区が映っていないので、何か一つお願いしたい。</p>
<p>◆事務局</p>	<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩舟の郷土歴史伝承事業について <p>《経過報告》</p> <p>10月21日(土)14:00開演 岩舟文化会館 約250人参加 「下野国の生んだ世界的偉人“円仁”」 講師 國學院大學栃木短期大學 教授 酒寄雅志氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木市地域自治交流会 47名参加 ・各小学校区まちづくり実働組織設立準備会 <p>《進捗状況報告》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩舟地域自治会連合会研修 <ul style="list-style-type: none"> 松戸市視察 栗ヶ沢中学校地域防災委員会 27名参加予定 10月28日(土) クロスロード研修 12月10日(日) 松戸市の視察研修については、次回の地域会議で内容等報告する。 <p>5. 閉 会</p>